

Fairwood (52 HK)

香港 / 消費 / 決算レビュー

16年度の決算は販管費の低下を受けて予想を上回った。人民元安が引き続き追い風。

2016年7月11日

- 香港におけるQSR(クイックサービスレストラン)網の拡充が加速
- 人件費の上昇が食品コストの削減効果を一部相殺した
- 中流ファストカジュアルレストラン分野に進出中



予想の修正 (%)

3月31日決算	17年度予想	18年度予想
売上高の変更	(0.2)	0.5
純利益の変更	1.5	0.6
EPSの変更	0.7	(0.7)

主な銘柄データ

52週間の高値/安値	32.1/20.3 香港ドル
30日間の1日平均出来高	0.18 百万
発行済み株式数	127.03 百万
時価総額(香港ドル)	4,192 百万
主要株主	Dennis Lo 取締役 (43.74%)

株価パフォーマンス



主要財務データ

3月31日決算	15年度	16年度	17年度 予想	18年度 予想
売上高(100万香港ドル)	2,245	2,428	2,757	3,232
伸び率 (%)	10.2	8.2	13.5	17.2
純利益(100万香港ドル)	144	201	258	333
伸び率 (%)	33.8	39.5	28.3	29.4
EPS(香港ドル)	1.14	1.59	2.02	2.60
伸び率 (%)	33.1	39.0	27.4	28.8
PER(倍)	28.2	20.2	15.9	12.3
DPS(香港ドル)	0.80	1.40	1.45	1.87
イールド (%)	2.5	4.4	4.5	5.8

出典: 会社データ、京華山一予想

最新情報

Fairwoodの16年度の決算は、売上高が前年比8.2%増の24億2,700万香港ドル、調整済み純利益が31.3%増の1億8,900万香港ドルになり、当社予想をそれぞれ0.8%、6.3%上回った。

手掛かり材料

香港におけるQSR(クイックサービスレストラン)網の拡充を加速している5.4%となった既存店売上高伸び率と5%の伸びを記録した1店舗当たりの平均売上高の伸びが牽引役となり、香港の売上高は前年比10.4%増の22億8,400万香港ドルになった。経営陣は、17年度に拡充計画を加速させ、QSR店舗の純増目標を15~16店舗に設定しているが、新規出店場所の半分は既に決定済みである。そのため、当社は労働力逼迫懸念を考慮した上で、QSR部門の17年度/18年度の伸び率予想を11.8%/8.3%に小幅上方修正した。また、Fairwoodは先頃、香港のQSR店舗で夕食時の給仕サービスを導入し、顧客から好評価を得ている。このサービスにより、17年度に夕食利用客数が1桁半ばの伸びになる見込みである。

人件費の上昇が食品コストの削減効果を一部相殺した 粗利益率は、食品コストが低下したおかげで1ポイント上昇して15.9%になった。コスト削減効果は予想を上回る人件費の上昇によって一部相殺されたものの、経営陣は景気の低迷を理由に17年度に賃金が上昇する余地は小さいと考えている。事業運営費については、広告費用が低下したおかげで販売および一般管理費/売上高比率は当社予想の6.7%を下回る6%になった。そのため、当社は17年度/18年度の純利益予想について1.5%/0.6%の小幅な上方修正を行った。

中流ファストカジュアルレストラン分野に進出中 同社は、中流分野に進出するために西洋料理を融合したレストラン(平均販売価格:90香港ドル)を開店し、6か月で黒字化させている。また、同社は中華ファストカジュアルダイニングチェーンを立ち上げ中であり、1号店は17年度上半期に開店する見込みである。Fairwoodは、この種の専門店を毎年3~4店舗追加することを目標にしているが、経営陣は、あくまでメインのQSRファストフード部門の拡充が現時点での重点分野であると強調している。

当社の見方

利回り(イールド)を追及する環境下で再評価の機会が到来する 16年度の好決算は、純粋な香港のQSR銘柄であるFairwoodが景気鈍化の中で数少ない勝ち組の1つになるという当社の主張が正しかったことを証明している。当社は、着実な増配と先行きが確かな成長見通し(3年間の予想純利益の年平均成長率:27%)を材料に、同銘柄が利回り(イールド)を追及する現在の環境下において再評価されると考えている。

免責条項: 本資料は、情報の提供のみを目的としたものであり、有価証券の売買の推奨を意図したものではありません。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。本資料は、信頼に足ると考えられる情報源を基にしておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料内で示す内容は予告なく変わる場合があります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)またはコアパシフィック・グループの企業、同グループに関係ある個人は、本資料の使用または本資料への信頼に起因するいかなる法的責任も負いません。当資料の一切の権利はコアパシフィック山一インターナショナル(香港)に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平 14.1.25)」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。